

常設展 文学館アーカイブ 2026年度第2期

芥川龍之介の北海道講演旅行

収蔵資料をテーマに沿って入れ替えながら展示する「文学館アーカイブ」。2026年度第2期は、日本近代文学を代表する作家・芥川龍之介の北海道講演旅行についてご紹介します。

芥川は1927年、この世を去る約二か月前に、改造社発行の予約販売形式・一冊一円・毎月一冊配本の「円本」と呼ばれたシリーズ、『現代日本文学全集』の宣伝講演映画大会のために来道していました。同年5月13日の夜に上野駅を発ち、函館・小樽・札幌・旭川を訪れた講演旅行の様子を、芥川自身の作品や、北海道ゆかりの作家が書き残した文章などから辿ります。

「円本」ブームだからこそ企画されたイベントをきっかけにやってきた有名作家が北海道でどのように迎えられたのかをご紹介します。皆様のお越しをお待ちしております。



出典：国立国会図書館
「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)



改造社『現代日本文学全集』
第30巻表紙

2026年

7月4日(土)～

9月6日(日)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

月曜日休館

ただし7月20日(月)は開館し7月21日(火)は休館

常設展示室内 入口付近
文学館アーカイブコーナーにて

観覧料(常設展観覧料):

一般 500(400)円 高大生 250(200)円

中学生以下、65歳以上無料 ()内は10名以上の団体料金

※道みんの日(7月17日)は観覧無料。

高校生は毎週土曜日、7/1～8/30の期間無料。

芥川龍之介 1892～1927

東京生まれ。東京帝大英文科卒。在学中に発表した「鼻」が夏目漱石の激賞を受ける。その後、今昔物語などから材をとった王朝物「羅生門」「芋粥」や中国説話によった童話「杜子春」などを次々に発表した。1925年頃より体調が優れず、「唯ぼんやりした不安」のなか自殺。「歯車」「或阿呆の一生」などの遺稿が遺された。

●イベント

担当学芸員による講座

芥川龍之介と北海道

8月9日(日) 14:00～ 約60分

当館講堂、聴講無料

講師：庄司后伶(公益財団法人北海道文学館学芸員)

要申込：7月24日(金) 9:00～電話受付